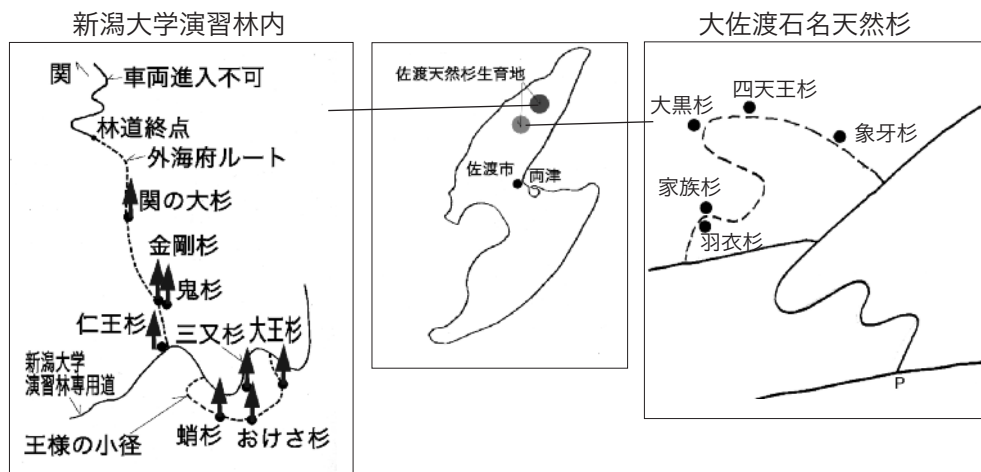


# e 佐渡の天然杉

近年発見された天然杉で、佐渡の北部、新潟大学演習林、県有林、民有林に点在する。新潟大学演習林内では、分布場所等の特定に繋がる情報が厳格に管理されているが、県有林ではガイドマップが制作され、自由に散策できるコースが設定されている。



2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	蛸杉 写真 S-001	株周 10.1m	17.5m	新潟県佐渡市関 新潟大学演習林	
B	関の大杉 写真 S-002	8.52m	18.5m	” 民有地	
B	金剛杉 写真 S-003	8.68m	18.0m	” 民有地	
C	おけさ杉 写真 S-004	4.82m	17.5m	” 新潟大学演習林	
C	鬼杉 写真 S-005	8.40m	22.1m	” 民有地	
C	大王杉 写真 S-006	7.77m	20.9m	” 新潟大学演習林	
B	四天王杉 写真 S-007	株周 12.6m	21m	新潟県佐渡市 石名天然杉遊歩道	
C	象牙杉 写真 S-008	株周 9.6m	18m	新潟県佐渡市 ”	
C	家族杉 写真 S-009	株周 6.3m	16m	新潟県佐渡市 ”	
C	大黒杉 写真 S-010	3.5m	19m	新潟県佐渡市 ”	
C	羽衣杉 写真 S-011	6.2m	18m	新潟県佐渡市 ”	
C	千手杉 写真 S-012	不明	不明	新潟県佐渡市 千手杉ルート	



◀写真 S-001

たごすぎ  
蝟杉

標高 850m の尾根筋にあり、根元の空洞に古株があって、それに着生した天然杉が伏条幹を複数出して巨大化していったもの。古株は完全に朽ちてしまった。根上状になった根が蝟の足に見える事から命名された。



▲写真 S-002

せき おおすぎ  
関の大杉

発見当初、アテの葉が見える事からアテの巨木と考えられたが、アテも着生木。古株更新の樹形で、見える主幹のほとんどが古株。上部に見えるのはまだ若い天然杉で、太い根が古株を伝う様子が見える。



◀写真 S-003

こんごうすぎ  
金剛杉

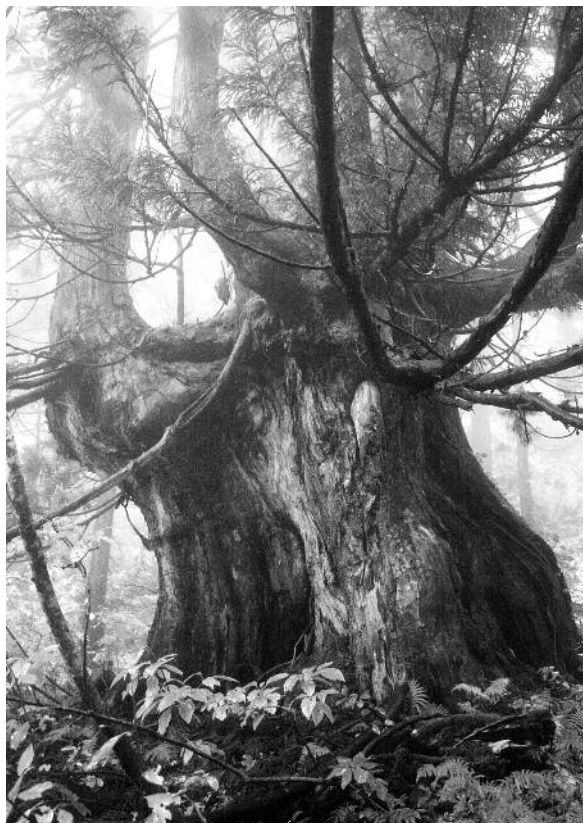
「外海府ルート」の中程、標高 760m の尾根の台地に立つ古株更新の樹形。古株は地上 6m で伐採され、着生した天然杉が何本もの細い伏条幹を立上げる樹形は「関の大杉」に似ているが、主幹断面周辺にも多くの伏条があり、それがまるで細い枝のようになって何十本も垂れる不思議な樹形をしている。



▲写真 S-004

**おけさ杉**

この地域は、日本海からの気流が山に沿って上昇気流になるため、一年を通して濃い霧が立ちこめ、尾根筋に天然杉が生育できる。日本海からの強風と積雪によって、大枝が南向きに流れるように張出している。その姿が地元の「佐渡おけさ」の踊り手の姿に似ることから命名された。



▲写真 S-005

**おにすぎ  
鬼杉**

金剛杉のすぐ近くに立つ。



写真 S-006▶

**だいおうすぎ  
大王杉**



写真 S-007  
してんのうすぎ  
**四天王杉**

(写真・佐渡地域振興局)



写真 S-011  
はごろもすぎ  
**羽衣杉**

(写真・佐渡地域振興局)



写真 S-012  
せんじゅすぎ  
**千手杉**

(写真・Web 画像)



写真 S-008  
ぞうげすぎ  
**象牙杉**

(写真・佐渡地域振興局)

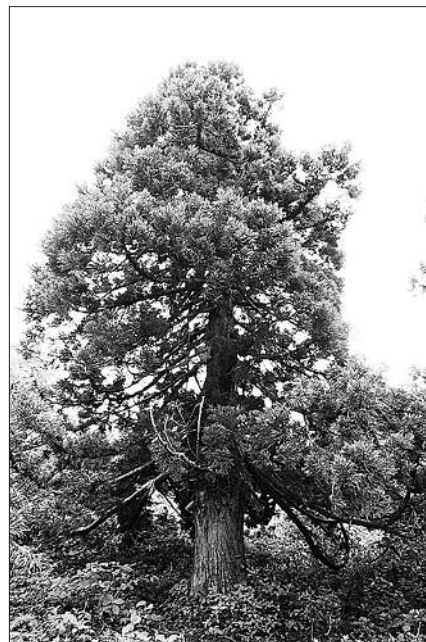


写真 S-010  
だいこくすぎ  
**大黒杉**

(写真・佐渡地域振興局)

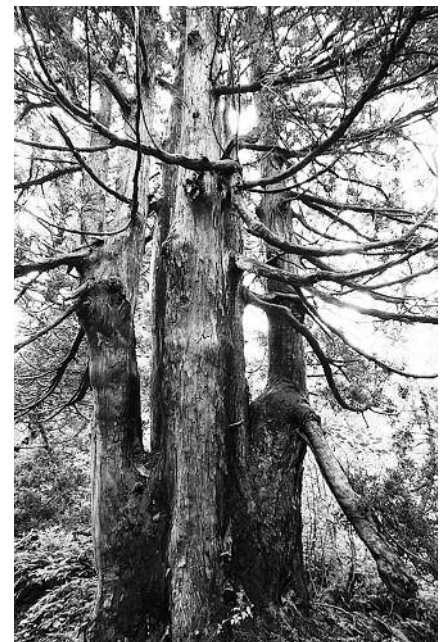


写真 S-009  
かぞくすぎ  
**家族杉**

(写真・佐渡地域振興局)